

令和7年度第1回東大阪市総合戦略審議会 次第

日時：令和7年8月20日 15:00～
会場：本庁舎5階 危機管理センター

- 1 東大阪市の人口移動状況の報告について
- 2 子どもファースト施策の進捗について
- 3 地方創生交付金の取組内容と実績について
- 4 その他
 - ・ローカル10,000プロジェクトの事業募集について

配布資料

- ・資料-1 説明資料
- ・資料-2 令和7年度ひがしおおさか地方創生ラウンドテーブルについて
- ・資料-3 ローカル10,000プロジェクトの募集について

東大阪市総合戦略審議会

所属機関	役職	氏名	区分
東大阪商工会議所	専務理事	阪上 義治	産（産業界）
近鉄不動産株式会社事業開発本部 プロジェクト第一部	課長	片岡 一平	産（産業界）
東大阪市 教育委員会	教育委員	堤 晶子	官・学 （教育委員会）
近畿大学 経営学部 経営学科	教授	古殿 幸雄	学（大学）
大阪人間科学大学 人間科学部 社会福祉学科	教授	中川 千恵美	学（大学）
ドリアイイノベーション合同会社	代表社員	林 俊武	産（産業界）
永和信用金庫 経営企画部	部長	加藤 聡	金（金融機関）
日本政策金融公庫 東大阪支店	支店長	木村 亘	金（金融機関）
連合大阪河内地域協議会東大阪地区協議会	議長	山野 忠	労（労働団体等）
株式会社ジェイコムウエスト東大阪局	地域プロデューサー	楠原 三千代	言（メディア）
M&J社会保険労務士事務所	社会保険労務士	安部 麻記	士
総務省	デジタル統括 アドバイザー	三木 浩平	デジタル

令和7年度 第1回

総合戦略審議会

令和7年8月20日

次第

1

東大阪市の人口移動状況の報告について

2

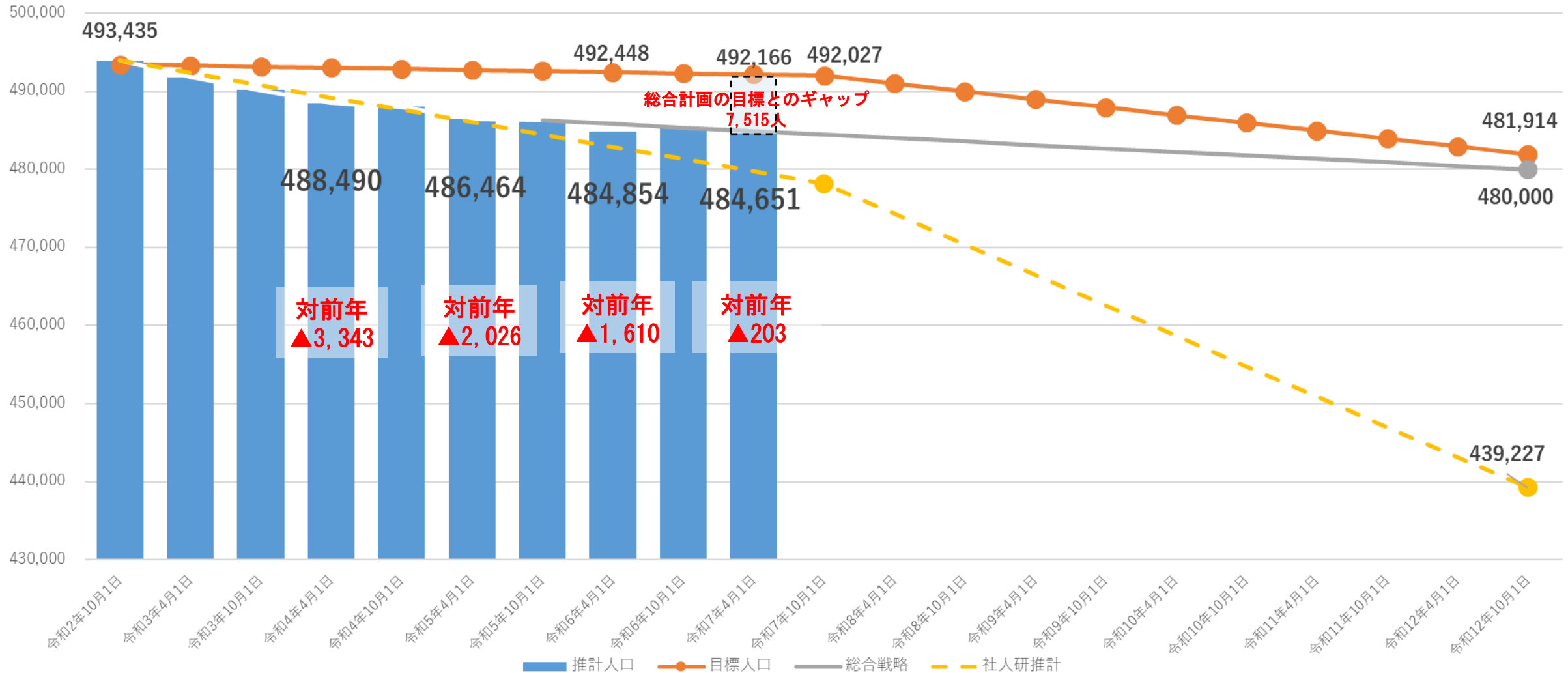
子どもファースト施策の進捗について

3

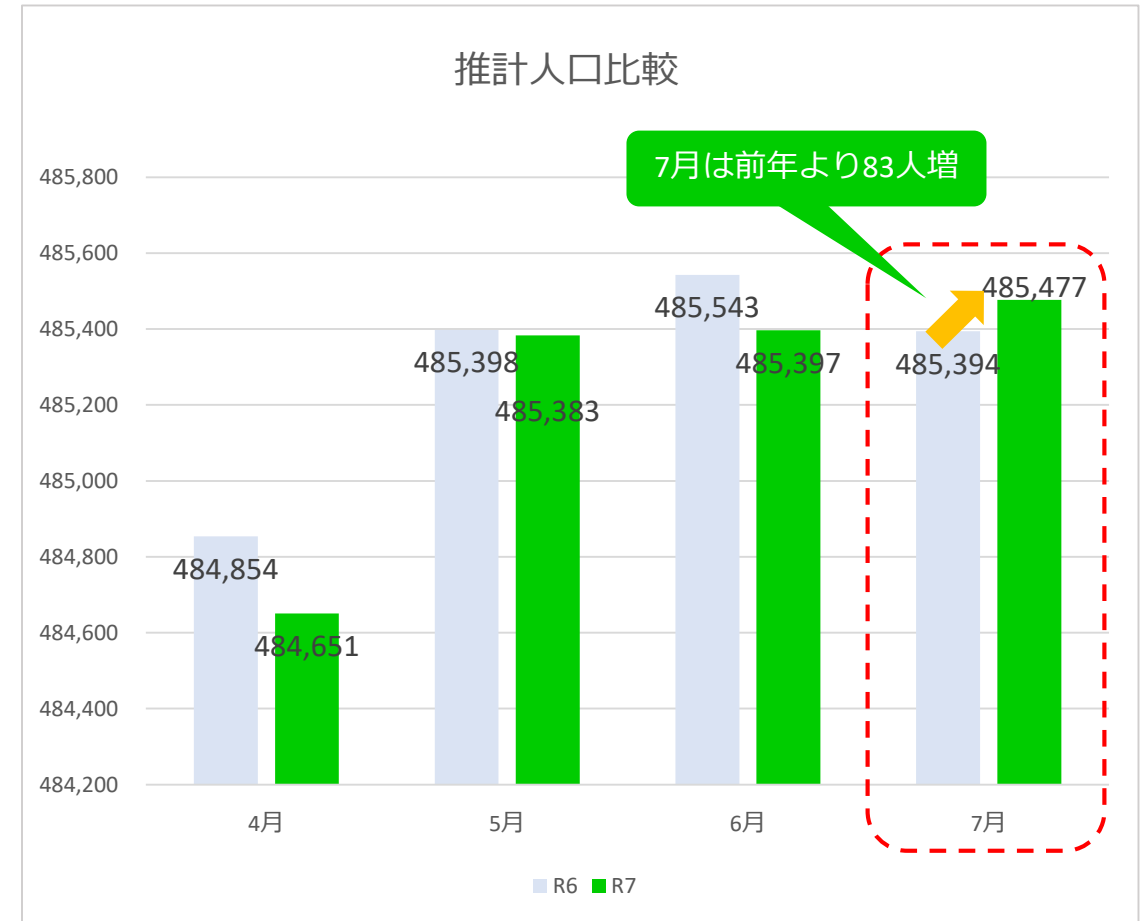
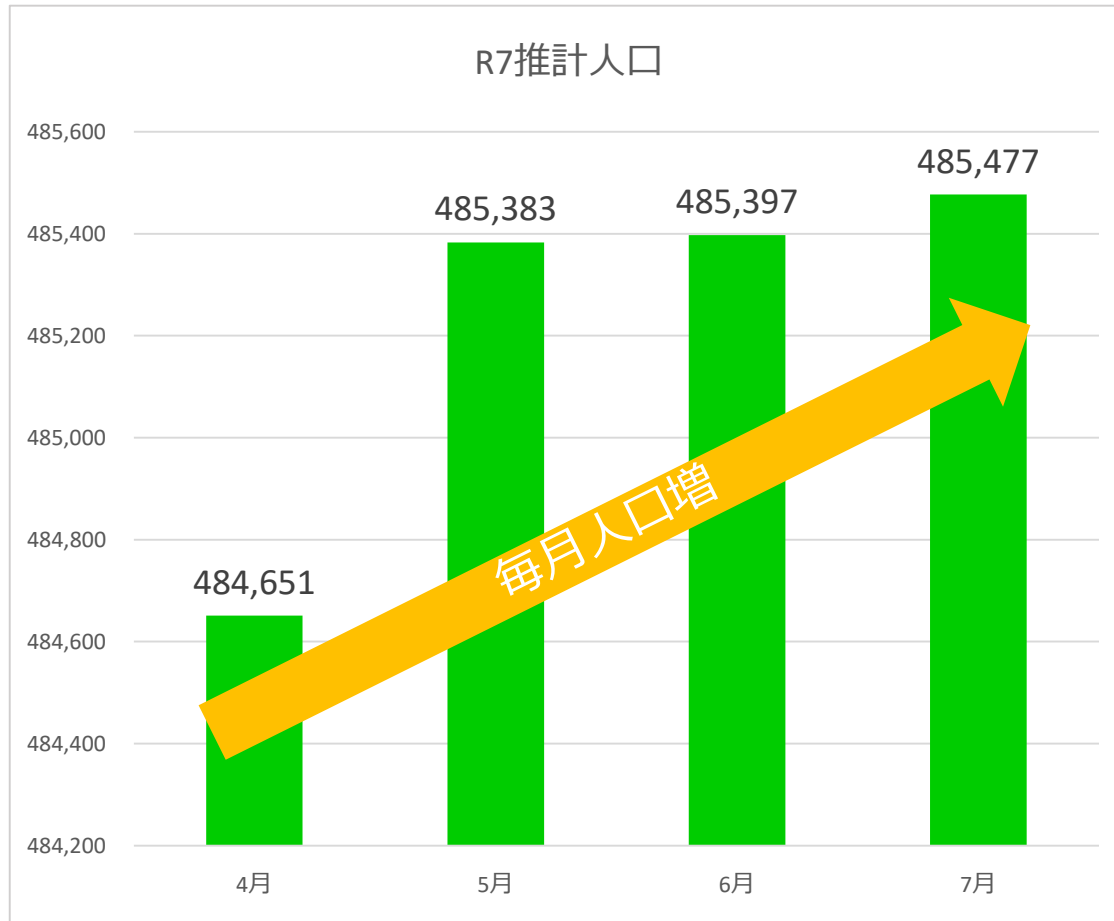
地方創生交付金の取組内容と実績について

1-1.東大阪市の人口移動状況の報告（各年4月1日付推計人口の比較）

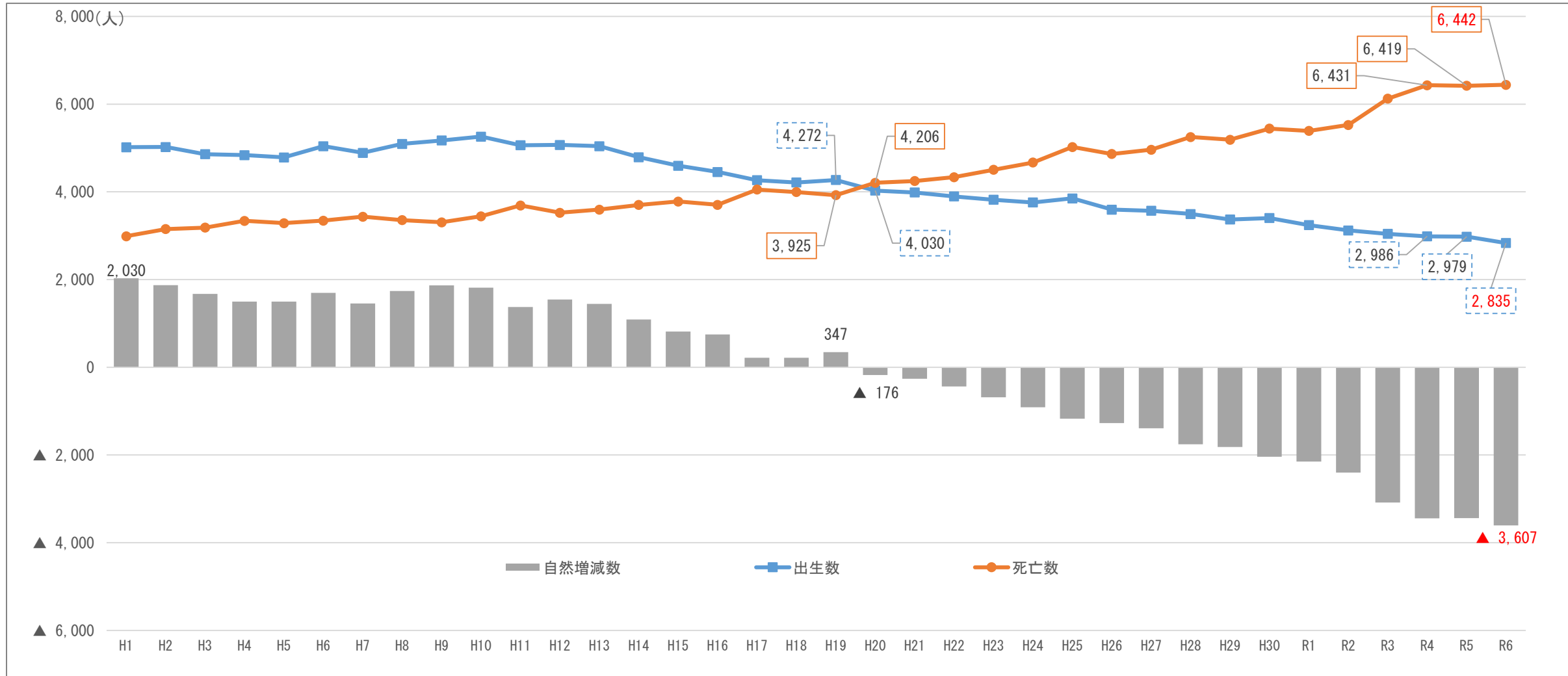
R7年4月1日時点の人口実績（国勢調査を基にした推計人口） (a) : 484,651人
 第3次総合計画の目標値のR7年4月1日時点の理論値 (b) : 492,166人 (a) - (b) = ▲7,515人



1-2. 推計人口の比較



1-3.東大阪市の人口移動状況の報告 (自然増減)

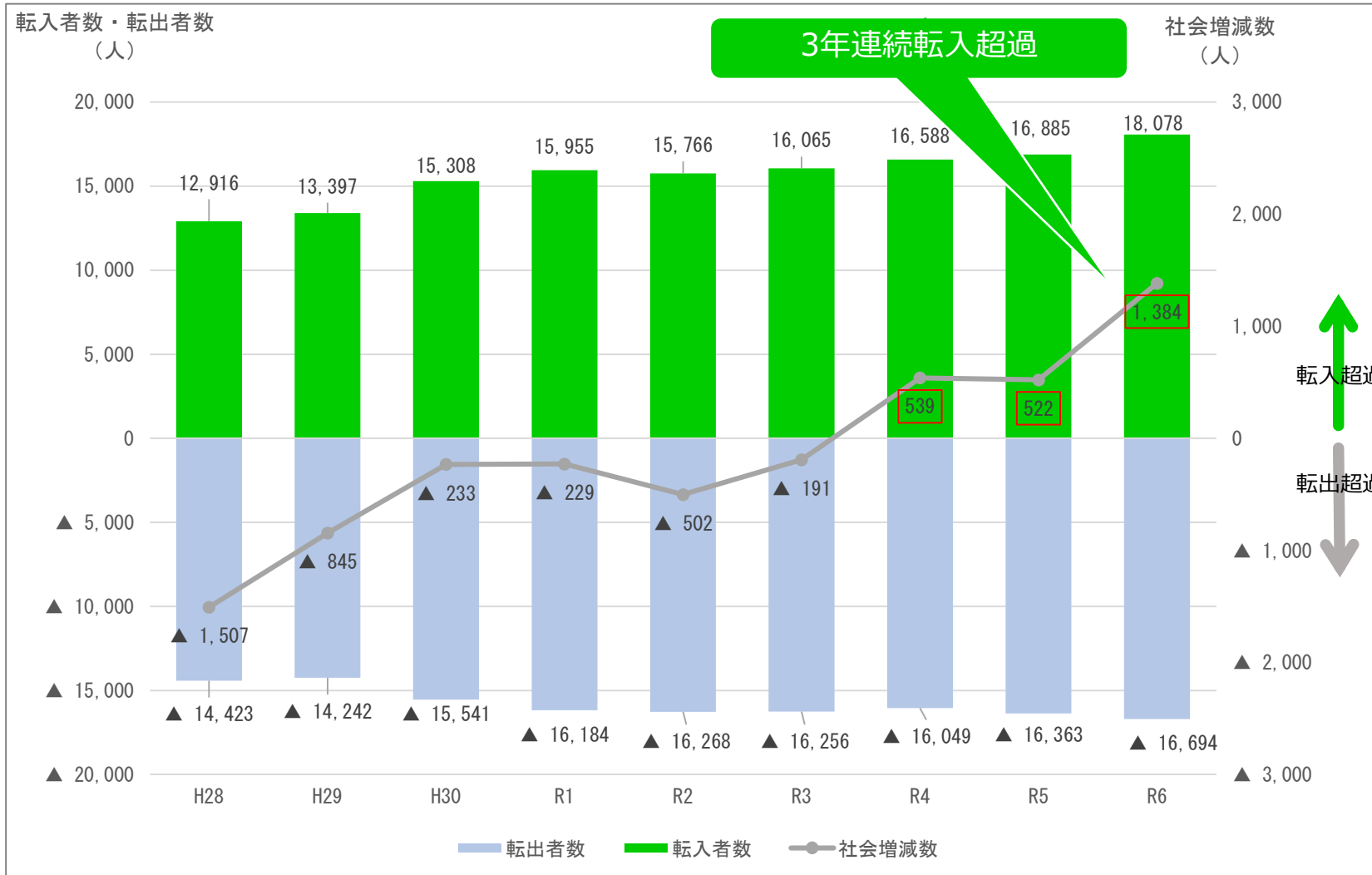


資料：東大阪市「統計書」

- ・ 令和6年（2024年）1月～12月の東大阪市の自然増減は、出生数2,835人、死亡数6,442人で**3,607人の自然減**
- ・ 出生数は2,900人台を維持していたが、令和6年は2,900人を下回り、2,800人台に突入した

1-4.東大阪市の人口移動状況の報告（各年比較）（社会増減）

東大阪市と他市（日本国内）の住民票の異動（転入と転出の差）の状況



転入超過数の内訳(人)

	R4	R5	R6
日本人+外国人	539	522	1,384
日本人	294	455	940
外国人	245	67	444

R6年大阪府内
転入超過トップ5

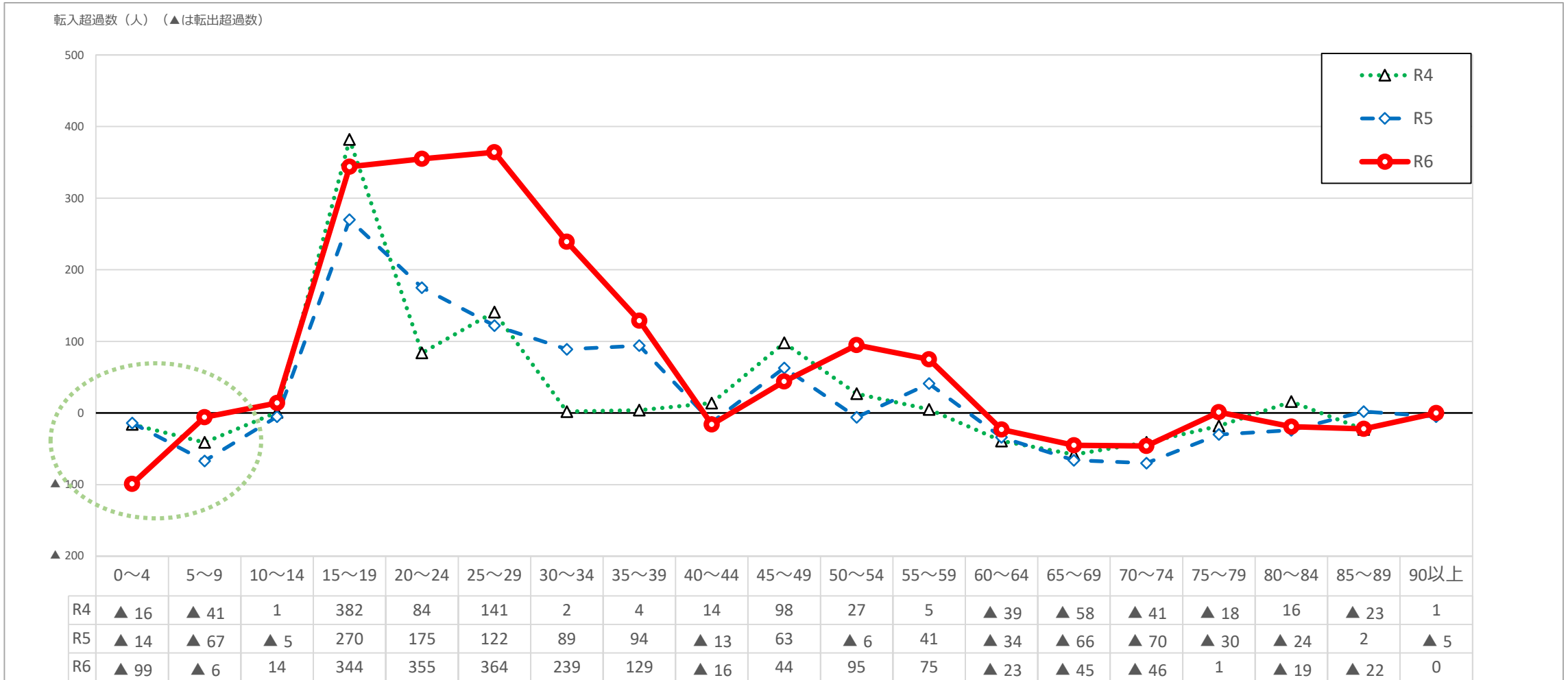
順位	市町村名	転入超過数 (人)
1	大阪市	16,090
2	吹田市	2,024
3	東大阪市	1,384
4	茨木市	730
5	島本町	666

資料：総務省「住民基本台帳人口移動報告」

・令和6年（2024年）1月～12月の東大阪市では転入18,078人、転出16,694人で**1,384人の転入超過（3年連続）**

1-5.東大阪市の人口移動状況の報告 (社会増減)

東大阪市と他市（日本国内）の住民票の異動（転入と転出の差）の状況（年齢階層別）



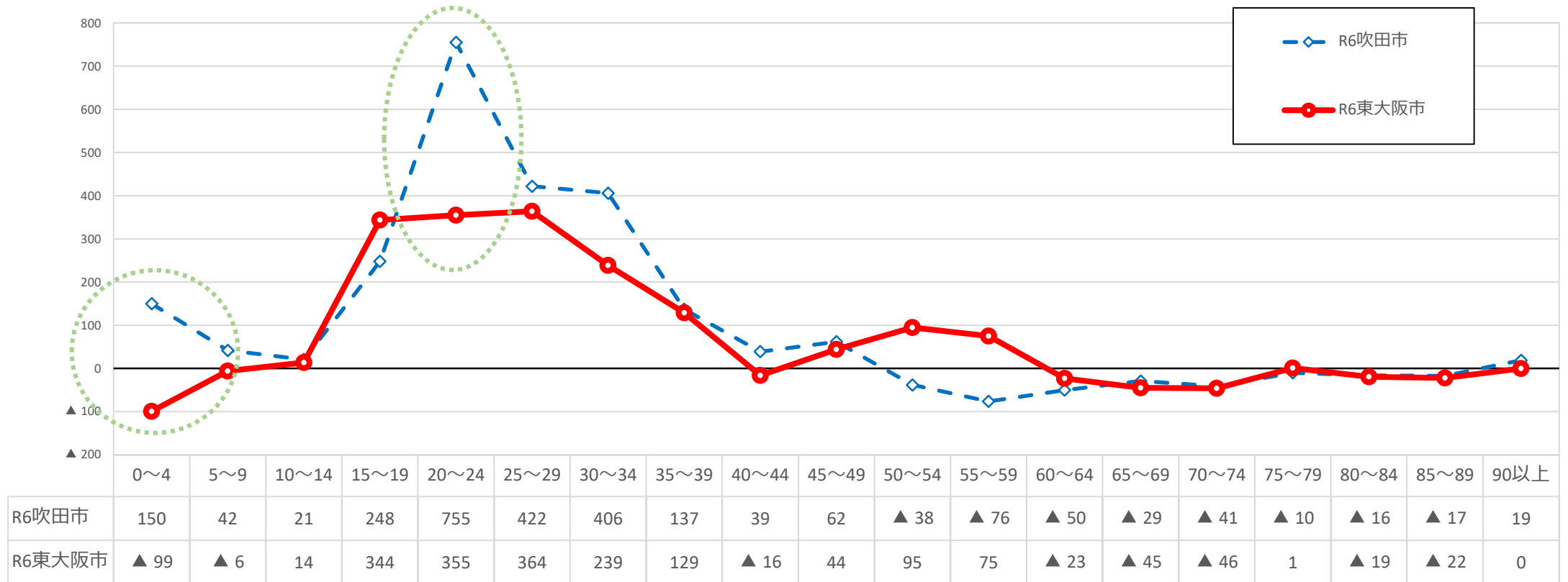
- ・ 20-34歳の転入超過は過去2年と比較し、大幅に増加
- ・ 5-9歳の転出超過は改善したが、0-4歳の転出が増加

資料：総務省「住民基本台帳人口移動報告」

1-6.東大阪市の人口移動状況の報告 (社会増減) 吹田市との比較

東大阪市と他市（日本国内）の住民票の異動（転入と転出の差）の状況（年齢階層別）

転入超過数（人）
 (▲は転出超過数)



- ・本市同様、市内に総合大学を有しており、15-24歳の転入超過傾向がみられる
- ・全体的に似たような転出入の傾向であるが、0-4歳、50-59歳の転出入の傾向は真逆

資料：総務省「住民基本台帳人口移動報告」

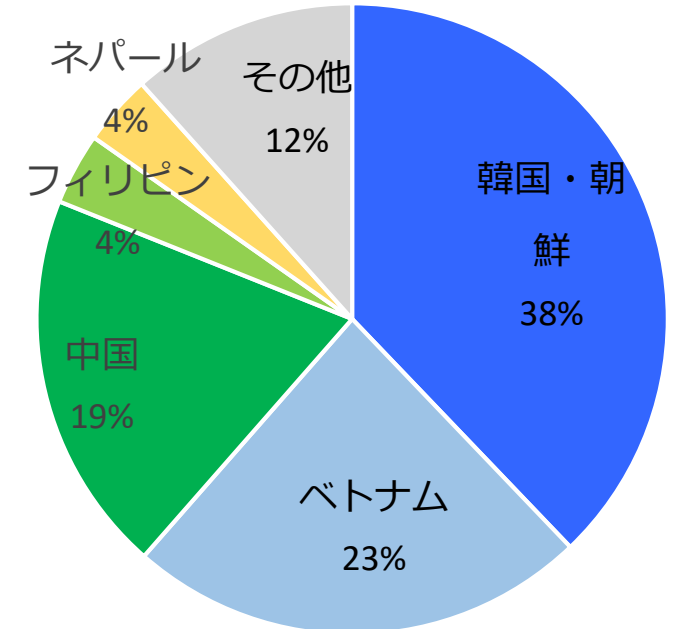
1-7.外国人住民の人口

東大阪市の外国人住民の国籍別の割合

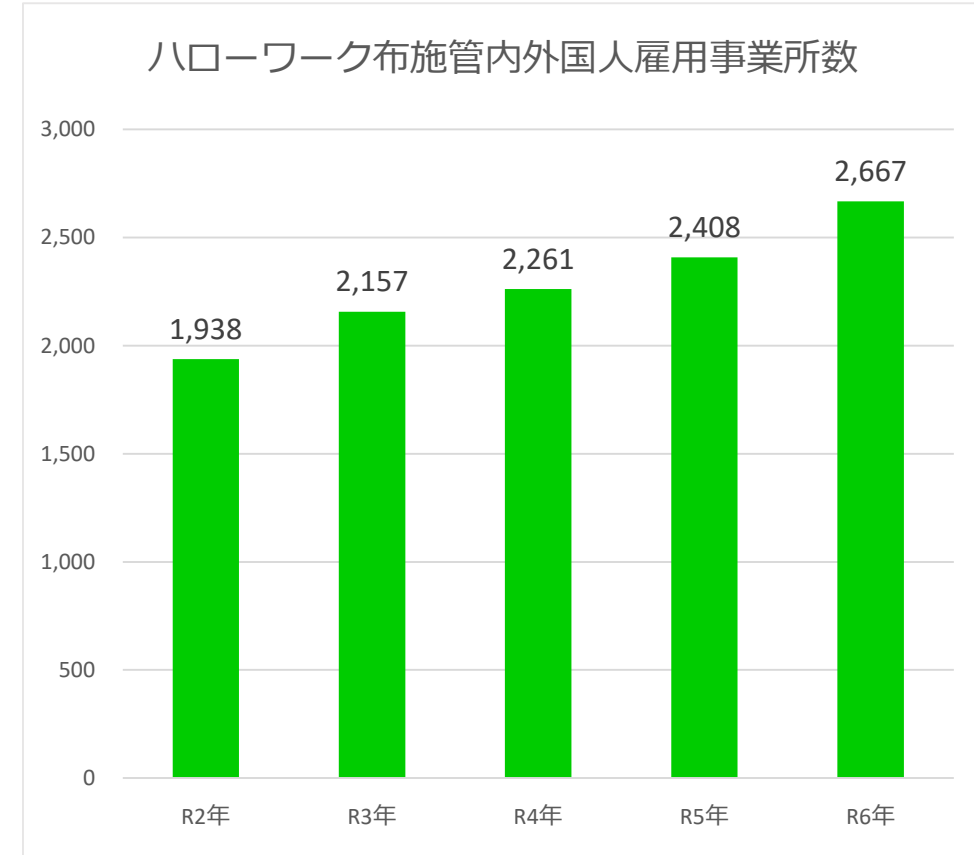
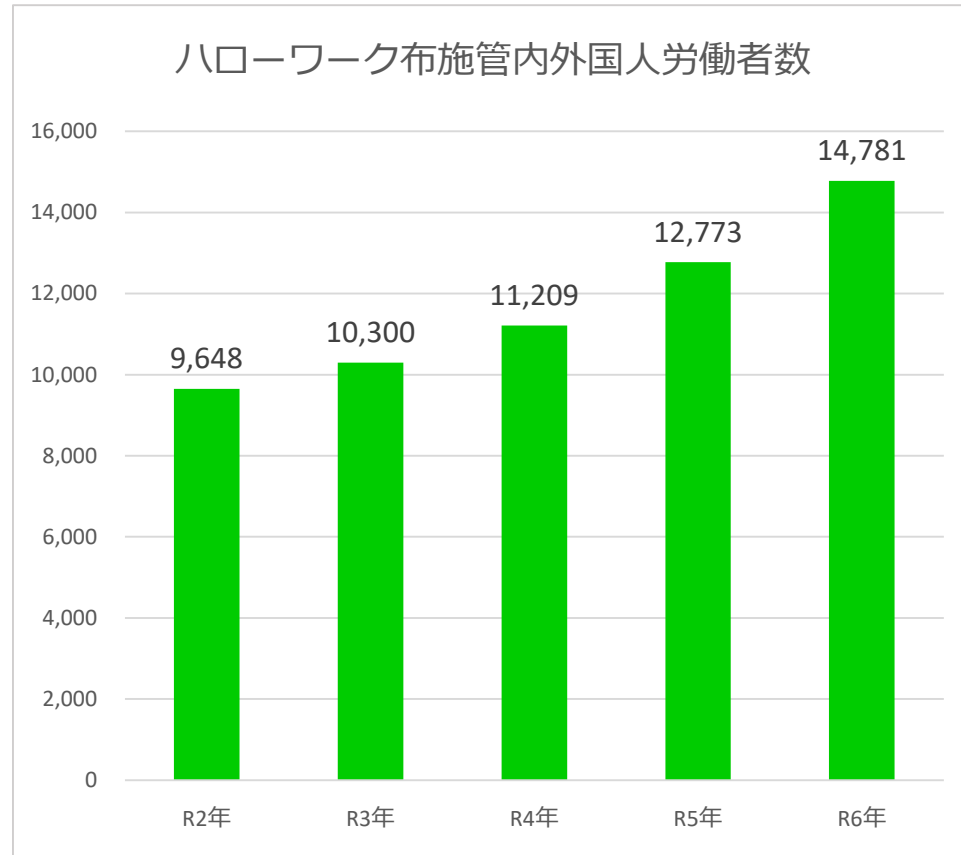
	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
韓国・朝鮮	9,480	9,144	8,876	8,632	8,462
ベトナム	3,079	3,343	3,818	4,512	5,278
中国	3,908	3,727	3,906	4,015	4,384
フィリピン	589	629	662	739	822
ネパール	183	221	450	614	810
その他	1,483	1,376	1,666	2,102	2,599
総数	18,722	18,440	19,378	20,614	22,355



R6年末時点の割合

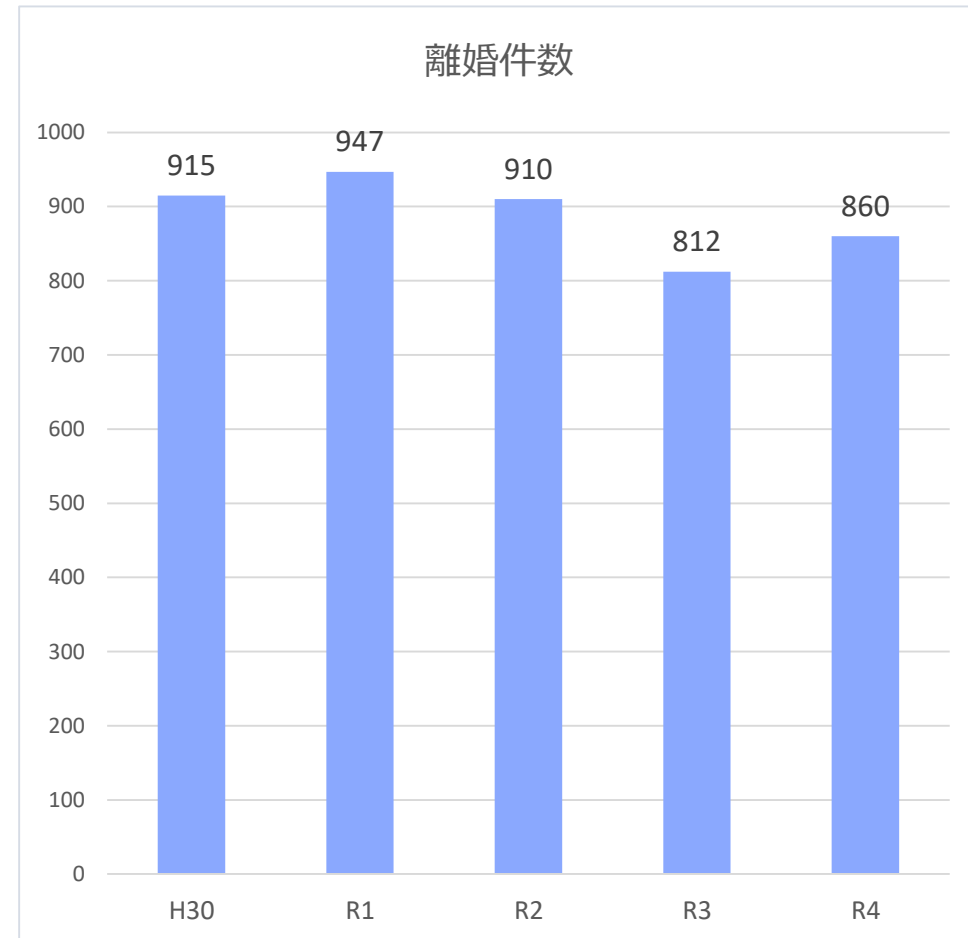
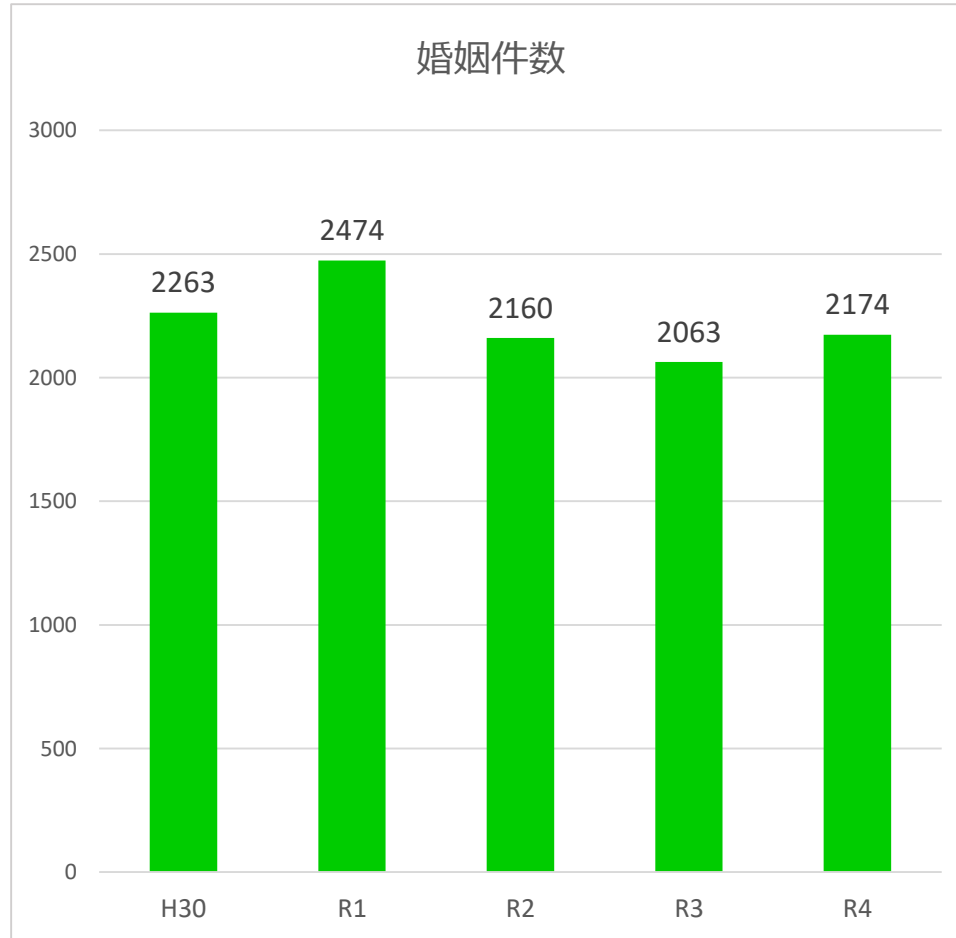


1-8.外国人労働者数および外国人雇用事業所数の推移



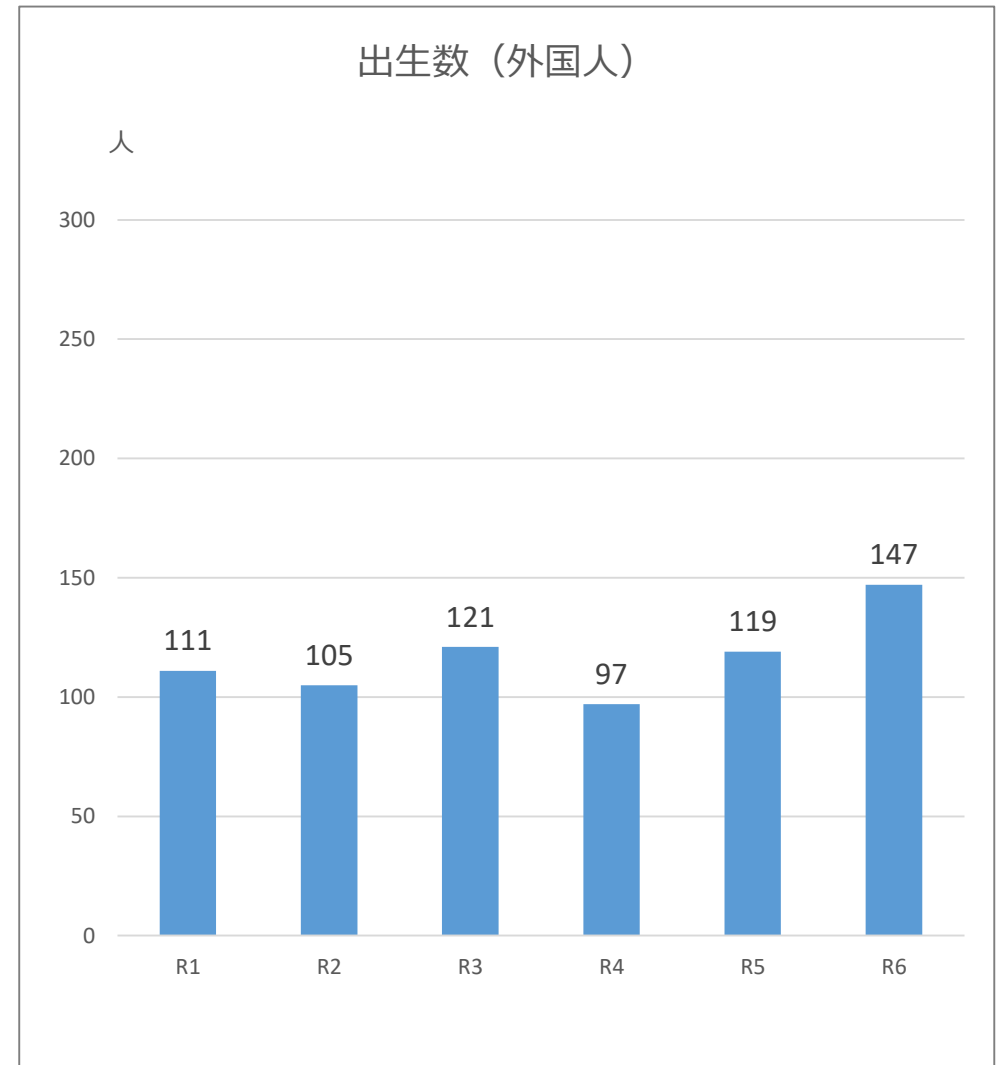
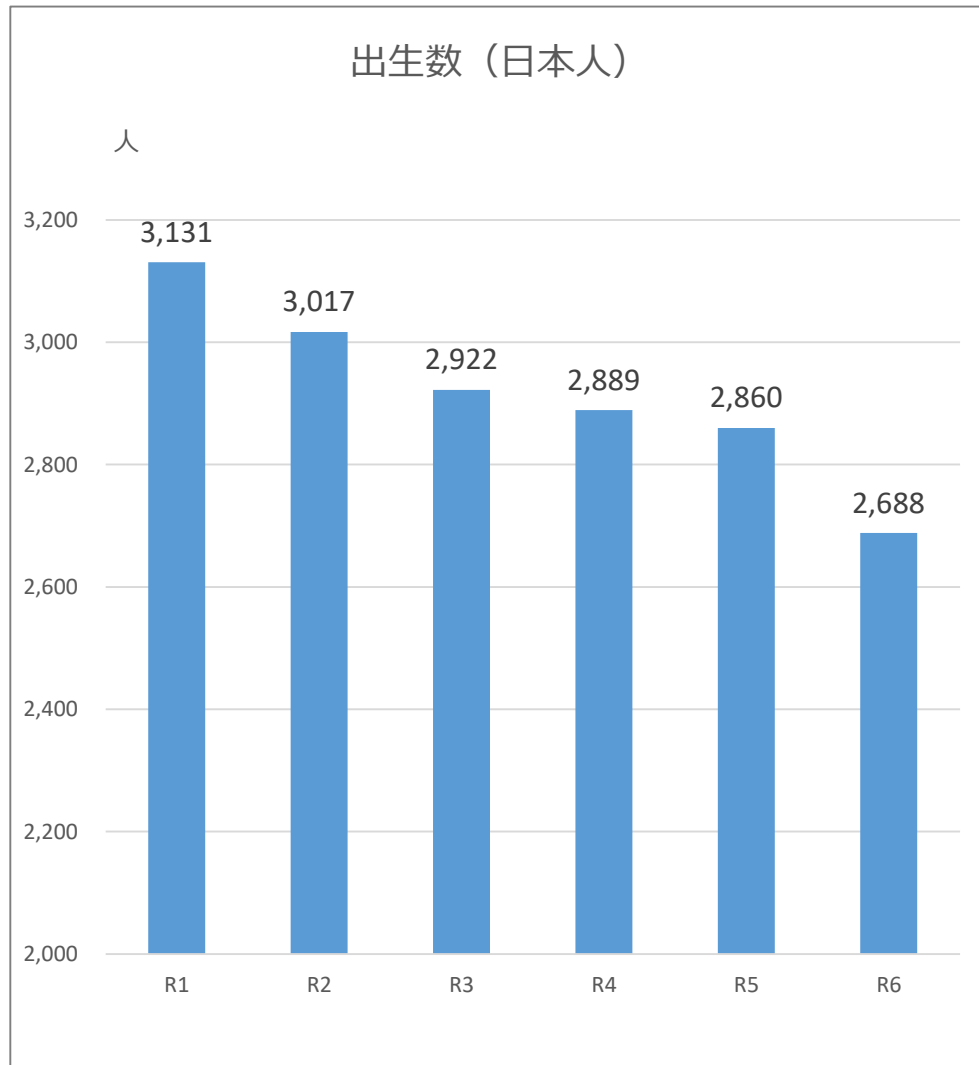
令和6年10月(ハローワーク布施管内)
外国人労働者数 14,781人 (府下4位)
外国人雇用事業所数 2,667 (府下4位)

1-9.参考：婚姻数



資料：「人口動態調査」

1-10.参考：出生数内訳



資料：東大阪市「住民基本台帳年報」

・日本人の出生数は減少しているが、外国人の出生数は増加傾向にある

東大阪市の人口動態（まとめ）

- (1) **推計人口（令和7年4月1日時点）：484,651人（前年比203人減）**
過去の減少幅と比較すると、減少傾向に歯止めがかかってきている。
令和4年：3,343人減、令和5年：2,026人減、令和6年：1,610人減
- (2) **令和7年7月1日時点の推計人口：485,477人。昨年同月（485,394人）と比較すると、83人増。**
（平成22年8月以来15年ぶり）
- (3) 社会増減については、令和6年は3年連続の転入超過となり、超過数は府内3番目
大阪市：16,090人
吹田市：2,024人
東大阪市：1,384人
- (4) 自然増減は令和6年は3,607人の減
出生数は令和4年に3,000人を下回り、令和6年に2,800人台に突入（国：R6 68万6061人）
令和4年：2,986人（3,000人を下回る）
令和5年：2,979人
令和6年：2,835人（2,800人台に突入）
- (5) 令和6年中は転入超過であるものの、0～4歳：99人転出超過、5～9歳：6人転出超過であり、子どもファーストを掲げる本市としては、この世代の改善が今後の課題である。

2-1.子どもファースト施策の進捗について

1. 子どもの居場所づくりについて

- ・角田総合老人センター(夏休み期間の火、金に小学生対象の世代間交流教室の開催)
- ・永和図書館、花園図書館 (6月より17時以降の自習が可能)
- ・男女共同参画センター(6月より中高生が自習室として利用可能)
- ・本庁舎22階展望ロビー改修(今年11月頃に改修予定)
- ・子ども食堂
- ・てらこもんず(三島硝子建材株式会社の一部で子どもの居場所づくり)

2. 子どもの権利条例、子ども・若者計画について

3. 令和7年度ひがしおおさか

地方創生ラウンドテーブルについて

2-1. 子どもの居場所づくりについて @角田総合老人センター



夏休み期間中、子どもたちの安心・安全な居場所づくりと世代間交流の一環として、角田総合老人センターの2階研修室を世代間交流の場として開放します。夏休みの宿題や自習、こども達が安心してあそぶことができる居場所として開催します。ちょっとした見守りのある居場所として、ぜひご利用ください。

【場所】 角田総合老人センター(角田2丁目3-8)

【期間】 令和7年7月25日から8月26日まで

【曜日・時間】 毎週 火曜日・金曜日 午前10時～午後4時

【対象】 小学生(保護者の同意が必要です)

【持ち物・お願い】

- ・飲み物(水筒)は各自ご用意ください(館内での食事はできません)
- ・ゲームや本など、静かに楽しめるものの持ち込みOK!
- ・出入りの記録のため、名前、保護者の連絡先を記入いただきます
- ・学習のサポートなどはおこなっておりませんが、スタッフが巡回見守りします



ご質問などあれば、
お気軽にお問い合わせください!
角田総合老人センター
東大阪市角田2-3-8
電話072-962-8011



2-1.子どもの居場所づくりについて @東大阪市立市民多目的センター

小中学生対象 \ 2025 夏休み! /

しゅくだい カフェ

宿題CAFE

7月26日～8月20日

朝 10時～夜 8時まで (小学生は夕方5時半まで)

**宿題CAFEって
どんなところ?**

小中学生が気軽に立ち寄り、無料で利用できる宿題スペースです。

子ども達の居場所、学生の自習室として使っていただけます。

前題が終わったら
ジュースが1杯もらえるよ!

「お母さん」が自印!

保護者の方へ まずは登録!

初めてご利用されるお子様は
まず出欠アプリにメンバー登録をお願いします

 こちらのコードから
簡単に登録いただけます

ボランティア募集!

 子ども達と一緒にみてくれる
ボランティアの方を募集します!
こちらのコードからご応募ください

場所 東大阪市立市民多目的センター
東大阪市高井田元町1丁目2-13 3・4階

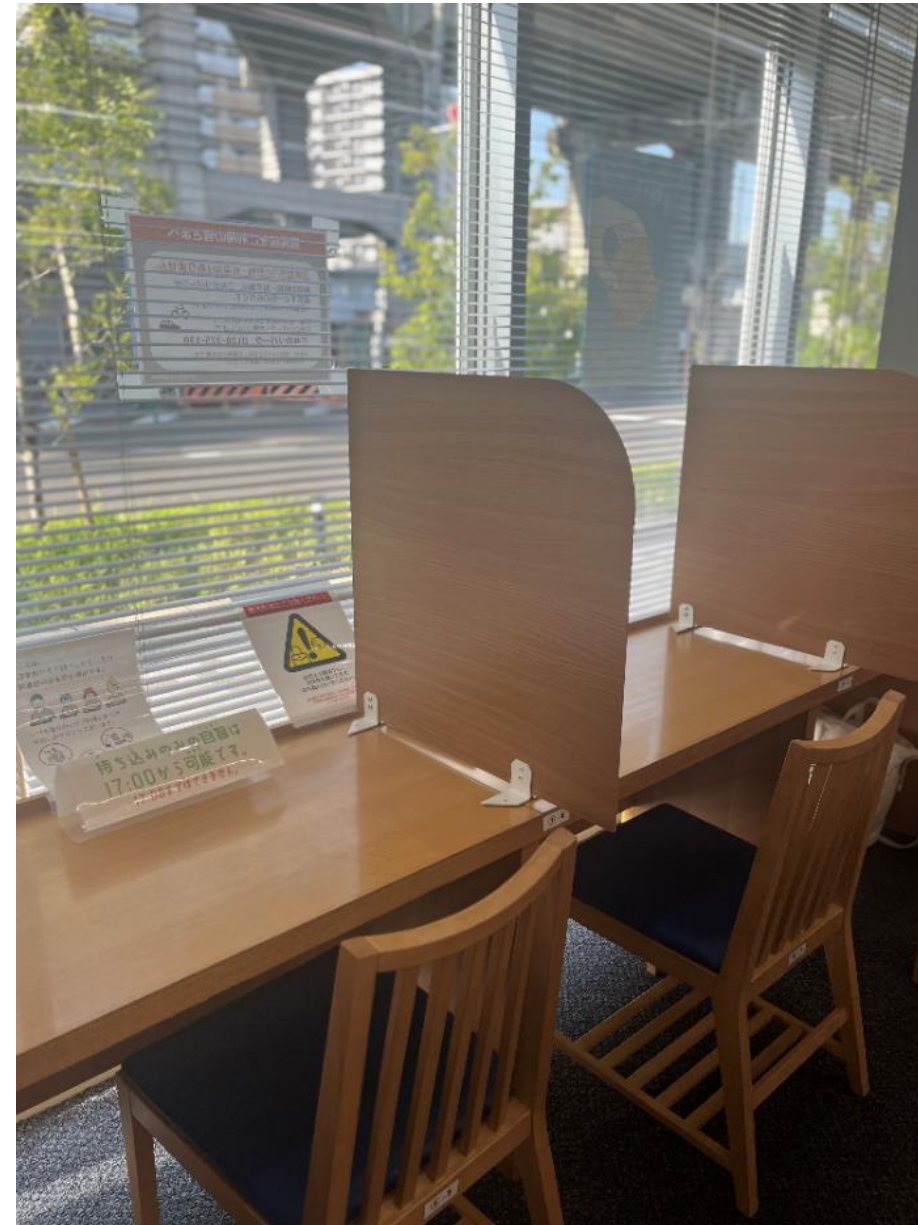
お問合せ 06-4307-4690 市民多目的センター (本館休館)

主 催 : NPO法人トイボックス (東大阪市立市民多目的センター)




2-1.子どもの居場所づくりについて @永和図書館

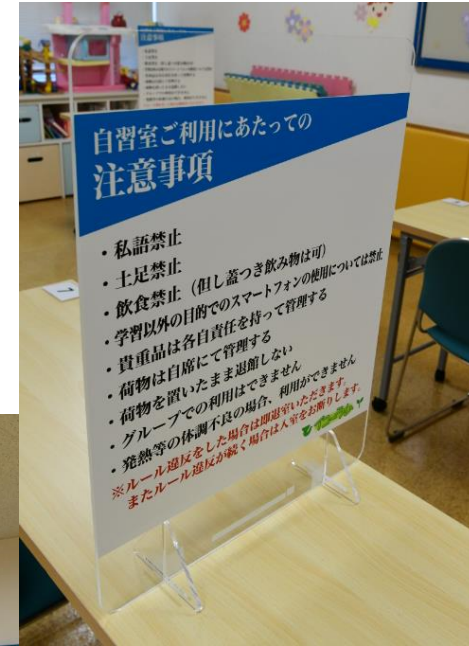
6月より17時以降の自習が可能に



2-1.子どもの居場所づくりについて @男女共同参画センター（イコーラム）



6月より中高生が自習室として利用可能に



2-1.子どもの居場所づくりについて @庁舎22階展望ロビー改修

◎令和7年11月頃に改修予定



※現時点でのイメージになります。

2-1. 子どもの居場所づくりについて @駅前交通広場（永和駅、俊徳道駅）

@俊徳道駅前交通広場



@永和駅前交通広場



2-1.子どもの居場所づくりについて @てらこもんず

◎ 東大阪市経済新聞 R8.8.18

暮らし・働く

© 2025.08.18

三島硝子建材が地域の居場所作り活動 「こども110番の家」入りやすく

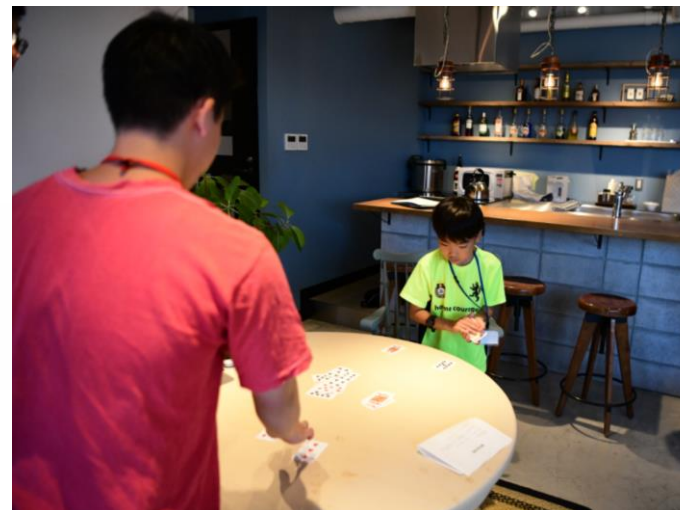
ものづくり 近畿大学 可工場 夏休み 見守り活動 近畿大学付属高校 三島硝子建材 こども110番の家 てらこもんず 居場所作り



三島硝子建材社長の三島圭四郎さん（後列左）、立案者の矢倉優樹さん（同2番目）、三島硝子建材取締役の三島あゆみさん（前列左）と近畿大学の学生

アルミサッシの設計・製作・施工を手がける三島硝子建材（東大阪市岸田堂西、TEL 06-6729-1773）が現在、子どもたちのための新しい居場所作り活動「てらこもんず」に取り組んでいる。

📌 大学生と一緒に釘を使って「てらこもんず」の看板を作るワークショップを開催



2-1. 子どもの居場所づくりについて @子ども食堂



2-1.子どもファースト施策の進捗について

1. 子どもの居場所づくりについて

- ・角田総合老人センター(夏休み期間の火、金に小学生対象の世代間交流教室の開催)
- ・永和図書館、花園図書館(6月より17時以降の自習が可能)
- ・男女共同参画センター(6月より中高生が自習室として利用可能)
- ・本庁舎22階展望ロビー改修(今年11月頃に改修予定)
- ・子ども食堂
- ・てらこもんず(三島硝子建材株式会社の一部で子どもの居場所づくり)

2. 子どもの権利条例、子ども・若者計画について

3. 令和7年度ひがしおおさか

地方創生ラウンドテーブルについて

3-1. 令和7年度新しい地方経済・生活環境創生交付金の取組内容と実績

【2025大阪・関西万博出展を通じた東大阪市内製造業の自立化及び販路開拓支援事業】（推進タイプ）

目的（効果）

○2025大阪・関西万博は、世界から多数の来場者が見込まれ、営業力に課題を抱える市内企業にとってはPRの絶好の機会となる。未来社会への対応力や高い技術力を持つ企業が多数市内に存在することを周知し、モノづくりのまち東大阪の更なるPRを進めていく。

交付対象事業費 （円）	交付決定額 （円）
10,000,000	5,000,000

令和6年度事業内容

- 情報発信媒体の制作業務とプロモーション委託
- ネットワーク形成活動
- 製品開発の意欲を有する企業の支援

評価指標（項目）		R5	R6	R7
本市の支援を受けた企業の売上高の増加率（%）	目標値	0	0	20
	実績値	未	未	-
本市の支援を通じて新たな販路開拓をするために新製品開発を実施した企業数（社）	目標値	0	15	10
	実績値	未	未	-
本市の支援を受けた企業で、業績が向上した企業数（社）	目標値	3	10	15
	実績値	未	未	-

令和7年の取組み

- 情報発信媒体の制作業務とプロモーション委託
- ネットワーク形成活動
- 製品開発の意欲を有する企業の支援
- 展示出展負担金補助
- 展示品等開発補助



※KPIについてはR7.3月末時点

3-1. 令和7年度新しい地方経済・生活環境創生交付金の取組内容と実績

【2025大阪・関西万博出展を通じた東大阪市内製造業の自立化及び販路開拓支援事業】（推進タイプ）



・大阪ヘルスケアパビリオン リボーンチャレンジ **には市内企業72社が出展** **(出展企業数は府下2位)**

リボーンチャレンジ：万博に向けて新技術開発などに取り組む、400を超える大阪の中小企業・スタートアップの技術力や魅力を、毎週異なる26のテーマで展示や体験を通じて、国内外へ広く発信していきます。



3-2. 【多文化共生社会推進事業(R3-R5交付金)】 令和7年5月16日開催 東大阪市カラフルコミュニケーションフェスティバル in 大阪関西万博



市内小学校3校の
小学生が万博で躍動！



3-3. 令和7年度新しい地方経済・生活環境創生交付金の取組内容 【母子保健・子育てDX（すくすく☆トライ事業）】（デジタル実装型TYPE1）

目的（効果）

- 母子手帳アプリの導入により、妊娠期から安心して出産・子育てできる支援環境を整備
- オンライン予約機能の導入により、事業の予約をアプリからできるようになり、市民サービス向上を図る
- 予防接種手続きのデジタル化により、保護者と医療機関、行政それぞれの負担軽減と情報管理の効率化を図る
- 産後ケア事業についても、利用券を電子化して、省力化、ペーパーレス化を図る

交付対象事業費 (円)	交付決定額 (円)
30,005,000	15,002,000

令和7年度事業内容

- 母子手帳アプリの構築・実装

評価指標（項目）		R7	R8	R9
オンライン予約率(%)	目標値	50	70	80
	実績値	-	-	-
デジタル予診票の利用率(%)	目標値	20	50	70
	実績値	-	-	-
デジタル利用券の利用率(%)	目標値	15	80	90
	実績値	-	-	-
サービス満足度(ポイント)	目標値	3.0	3.5	4.0
	実績値	-	-	-
サービス利用申請に係る手続き時間の減少(分)	目標値	40	35	30
	実績値	-	-	-

3-4. 令和5年度に実施した交付金事業の評価指標 【東大阪市立小中学校統合型校務支援システム】（デジタル実装タイプTYPE1）

目的（効果）

- 教職員の出退勤管理システム及び学校と保護者間の連絡システムを統合型校務支援システムとデータ連携して管理
- 児童生徒用AIドリルとのデータ連携
- 学校に携わる人々の負担軽減によって児童生徒と向き合う時間を更に創出することで、「児童生徒1人1人が成長を実感し、安心して学べる学校」を実現

令和6年度事業内容

- 保護者連絡帳アプリの導入
 - ・学校からの（日常・緊急）連絡を保護者へ一斉配信が可能に
 - ・保護者からの欠席連絡が受け付け可能に
- 学習帳アプリを導入
 - ・児童生徒の心の健康を確認可能に
- 出退勤システムー校務支援システム間の教職員情報の連携
- 校務支援システム上の児童生徒の転出入情報をQubena（AIドリル）と連携

評価指標（項目）		R5	R6	R7
授業時間外に児童生徒に面談や声かけする時間が増加した教職員の割合（%）	目標値	60	70	80
	実績値	未	77	-
教職員が資質向上のため研修に参加した回数(回)	目標値	5	8	10
	実績値	3	7	-
保護者の連絡システム登録率（%）	目標値	90	95	100
	実績値	95	99	-
児童生徒が学校生活で教職員と良好な関係を築いている割合（%）	目標値	46	55	65
	実績値	未	51.5	-
児童生徒が学校生活で自己肯定感を向上した割合（%）	目標値	40	50	60
	実績値	未	41.4	-
学校と保護者間連絡システムが便利と回答する保護者の割合（%）	目標値	70	80	90
	実績値	未	77.4	-

3-5. 令和4年度に実施した交付金事業の評価指標 【異動受付支援システム】（デジタル実装タイプTYPE1）

目的（効果）

- 申請書のワンライティング化を達成するために、住民異動受付支援システムを構築することで、窓口における必要書類のスキャニングによるデータ化及び既に本市で管理しているデータが活用可能となる。
- 申請者は画面上で内容確認及び署名を行うことで、異動届及びその他申請書を当該システム上で発行される事により、住所・氏名等の記載が不必要となることから、市民サービスの向上及び職員の事務効率化を図る。
- 今後、当該事業を拡充するにあたり、異動に関連することが多い手続きや、申請件数の多い手続きを優先的に実装することで、効率的な拡充を進める。

令和6年度事業内容

- 令和4年度末に異動受付支援システムでのワンライティング化の対象となる手続きの拡張を行い、令和5年度から拡張した手続きに対し本格的な運用を開始した。
- 申請書作成時の実際の業務フローと申請書作成支援のシステム設計が上手くマッチせず、一部の所属では想定どおりに活用が進まなかった。
- これを踏まえ、令和6年度は業務フローとシステム設計のアンマッチを解消するための設計変更や、対応手続きの拡充、外部拠点でのシステム利用環境整備を行った。

評価指標（項目）		R4	R5	R6
対応する申請書の拡充数	目標値	20	25	30
	実績値	20	20	58
待ち時間が軽減される市民の数（1日当たり）	目標値	150	200	250
	実績値	60	132	278

3-6.物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金

(主な臨時交付金事業)

- ・住民税非課税世帯・住民税均等割のみ課税世帯に対する物価高騰対策給付金
- ・中学校給食費無償化事業
- ・キャッシュレス決済ポイント還元事業

支援枠	交付金額
低所得世帯支援枠	113,535,000円
推奨事業メニュー	534,600,000円
給付金・定額減税一体支援枠	4,143,488,149円
低所得世帯支援枠及び不足額給付分の給付金・定額減税一体支援枠	2,205,000,000円
総計	6,996,623,149円



くらしも応援! みんなおどりにハッピーポイント 総額6.75億円 WOW! HAPPY Point

**東大阪市キャッシュレスde
ハッピーポイントキャンペーン**

au PAY・d払い・PayPay・楽天ペイの
(コード支払い) (コード/QR/セルフ払い)
いずれかを対象店舗で利用すると

最大 10% 戻ってくる

付与上限 **1,000円相当/回・3,000円相当/期間**
決済サービス事業者あたり

※本キャンペーンはコンビニ対象外です。ご注意ください。

期間限定 2025.4/25日▶5/19日まで

キャンペーンの詳細はこちら▶  ※キャンペーンに関するお問い合わせは

東大阪市ハッピーポイント 検索 くらしも応援!東大阪市キャッシュレス de
ハッピーポイントキャンペーンコールセンター **0120-012-873**
受付時間:9時~17時(土日祝日含む)

※ポイント付与や支払い条件などについては一定の条件がありますので、詳しくはキャンペーンサイトもしくは、各社のHPでご確認ください。

ご利用可能なキャッシュレス決済サービス

au PAY d払い PayPay R Pay

 HIGASHIOSAKA CITY

**・2025年10月1日(水)~15日(水)の2週間で令和7年度第2弾のキャッシュレス決済ポイント還元事業を実施します!
第2弾のポイント還元は最大20%で行う予定です!**

3-7. (参考) 企業版ふるさと納税実績

令和6年度は8件、3,127万5千円（物納を含む）のご寄附をいただきました。

	寄附企業名	寄附事業名
1	伸和サービス株式会社	本庁舎22階展望ロビー等改修事業
2	株式会社大塚商会【物納】	魅力PR事業
3	株式会社グッドワンライフ	本庁舎22階展望ロビー等改修事業
4	タレントスクエア株式会社	多文化共生社会推進事業費
5	第一生命保険株式会社	多文化共生社会推進事業費
6	株式会社万代	本庁舎本庁舎22階展望ロビー等改修事業
7	因幡電機産業株式会社	備蓄物資購入費
8	株式会社日装	居心地の良い空間づくり事業（八戸ノ里公園整備）

3-7. (参考) 企業版ふるさと納税実績推移



	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
寄附企業数	459社	1,112社	1,138社	1,117社	1,640社	3,098社	4,663社	7,680社
活用自治体数	118団体	253団体	287団体	293団体	533団体	956団体	1,276団体	1,462団体



ひがしおおさか 地方創生 ラウンドテーブル

今年度も開催



1回参加につき
クオカード 3,000円


開催のご案内

東大阪市では、市民一人ひとりが地域課題を「自分ごと」として考え、よりよいまちづくりを推進するため、無作為抽出により選ばれた市民を委員に迎え、「ひがしおおさか地方創生ラウンドテーブル」を開催しています。堅苦しい会議ではありませんので、お気軽にお申込みください！


皆さん、これを機にひがしおおさかのことを「自分ごと化」して考えてみませんか？

ひがしおおさか地方創生ラウンドテーブルとは


- ### 1 無作為抽出による委員選定



従来の公募や推薦ではないため、これまで行政と接点の少ない市民の方も参加できる
- ### 2 地域課題の洗い出し



テーマに関する地域の困りごとをさまざまな視点から洗い出して、課題を整理する
- ### 3 自分ごと化して考える



地域課題に対して自分のできること、地域のできることをみんなで一緒に考えていく

開催日時・場所

- 第1回 10月5日(日) 9時～12時 本庁舎18F
- 第2回 10月26日(日) 9時～12時 本庁舎 1F
- 第3回 11月24日(月・祝) 9時～12時 本庁舎18F
- 第4回 12月21日(日) 9時～12時 本庁舎18F

※原則全ての回へご参加いただきますが、ご用事がある場合は一部欠席等可能です。

お申込み



←左の二次元コードでのお申込み
コードの読みができない場合には以下の連絡先にて受付します。

【連絡先】
東大阪市企画財政部企画室企画課
☎06-4309-3101
✉kikaku@city.higashiosaka.lg.jp

今回の会議テーマ：子ども・若者が夢を叶えられるまちづくり

今年度は、「子ども・若者が夢を叶えられるまちづくり」を会議テーマにしています。

子ども・若者の当事者だけでなく、さまざまな世代の方が交流しながらみんなで考えることで、「自分ひとりでは思いつかなかった意見」や「今まで知らなかった答え」と出会うことができるかもしれません。市民の皆さんに本音で語り合ってください、「子ども・若者が輝けるまち」の姿を一緒に考えてみませんか？

昨年度の会議の様子

昨年度は、「子どもファースト実現と高齢者のウェルビーイング(生きがいや幸福感)向上の両立をめざしたまちづくり」をテーマに市民委員の皆さんと一緒に考えていきました。



全4回にわたって話し合われた会議の内容が、1つの提案書として東大阪市に提出されました。提案書の内容は、本市ウェブサイト公開しています。是非ご覧ください。



←昨年度の会議の様子は東大阪市公式YouTubeチャンネルからご覧いただけます。

<令和6年度会議風景>



<令和6年度提案書>

参加までの流れ

Step1

表面の二次元コードより、申込フォームに必要事項を入力してください。(電話連絡可)

回答期限
8月22日(金)

Step2

お申込みいただいた方のうち、抽選で30名様に、東大阪市から当選のご連絡をいたします。

8月下旬頃(予定)

Step3

会議当日、本庁舎の会議場所へお越しください。

一時保育や手話通訳、外国語通訳などが必要な方は、お気軽にご相談ください。

アンケートにご協力ください

今回参加できない方も、よろしければ市政アンケートへのご協力をお願いします。



<市政アンケート>

主催 東大阪市 企画財政部企画室企画課

☎06-4309-3101

✉kikaku@city.higashiosaka.lg.jp



HIGASHIOSAKA
WHERE THE ANSWER IS

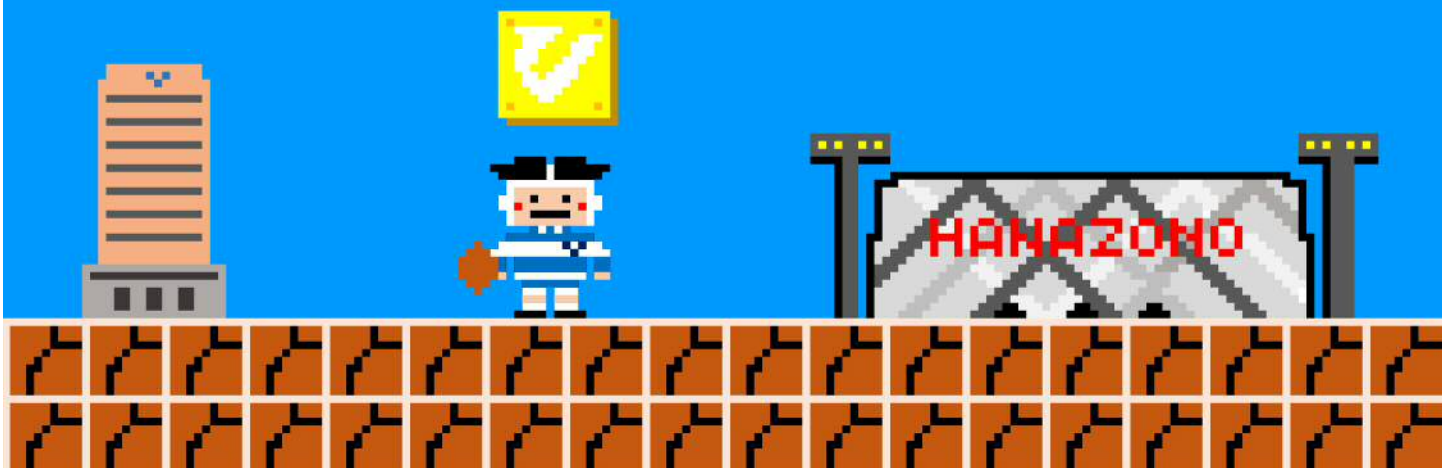
LOCAL
10000

2026
ローカル10,000
プロジェクト
募集中

LOCAL
10000
PROJECT

2026 HIGASHIOSAKA

- 1 地域密着
- 2 公共的な課題の解決
- 3 地域金融機関による融資
- 4 新規性
- 5 モデル性



ローカル10,000プロジェクト

交付金申請をめざす事業者を募集します!!

地域課題へ対応する新規事業に東大阪市が初期投資費用を支援します。

募集要領等詳しくは東大阪市のウェブサイトから!



東大阪市ウェブサイト

HIGASHIOSAKA

◎令和8年度に総務省への申請をめざす事業の募集について

- 東大阪市では、来年度に総務省の地域経済循環創造事業交付金の申請をめざす事業を募集しています。
- 令和8年度以降に市内で創業、新規事業を考えられており、本事業の活用を希望される事業者の方は制度概要及び「東大阪市地域経済循環創造事業交付金申請事業選定要領」をご確認の上、必要書類を下記書類提出期間内に東大阪市 企画財政部 企画室 企画課にご提出ください。

内容	日時
相談受付期間	公募開始後～令和7年10月24日(金)
書類提出期間	令和7年10月29日(水)～31日(金)
1次審査選定結果・2次審査会実施の案内通知	令和7年11月19日(水)
審査会(プレゼンテーション)の開催	令和7年11月下旬予定
2次審査選定結果通知	令和7年12月中旬予定
令和8年度当初予算の決定	令和8年3月末
総務省へ実施計画書提出	令和8年4月上旬(予定)
総務省の交付決定	令和8年6月下旬(予定)
事業の実施	交付決定後～令和10年2月28日まで

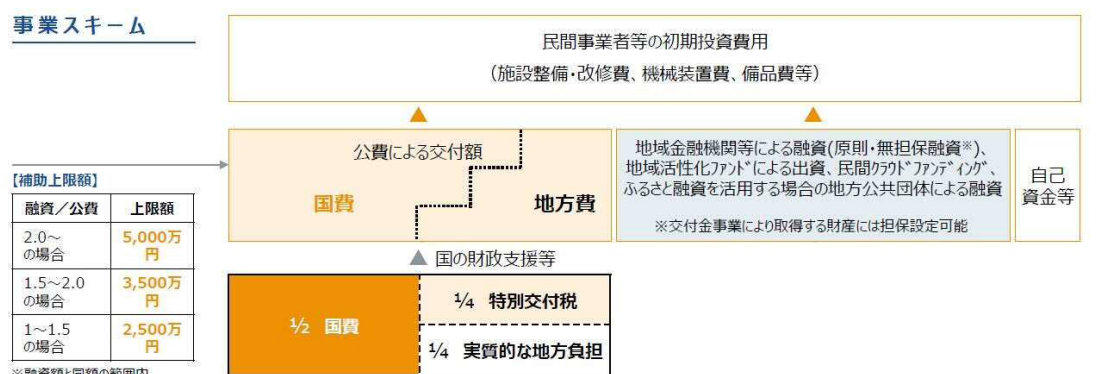
- ※1 補助金の交付にあたっては、本市の予算の承認及び総務省の事業採択をもって交付となります。市の予算が承認されなかった場合や総務省の審査の結果、事業の採択が受けられなかった場合、補助金は交付されません。
- ※2 補助金事業は交付決定以降に着手し、令和10年2月28日までに完了する事業が対象となります。
- ※3 地域経済循環創造事業(ローカル10,000プロジェクト)の詳細は総務省ウェブサイトをご確認ください。
https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/jichi_gyousei/c-gyousei/local10000_project.html
- ※4 事業募集に関する内容は本市ウェブサイトをご確認ください。
<https://www.city.higashiosaka.lg.jp/0000040452.html>

★地域経済循環創造事業(ローカル10,000プロジェクト)とは

- 産官学金労言の連携により、地域の人材・資源・資金を活用した新たなビジネスの立ち上げ支援。民間事業者、国、地方が一体となって、将来にわたって富を生み出していく仕組み(地域経済循環)づくりに取り組むことを目的に創設された総務省の交付金事業の一つです。
- 地域の資源と資金を活用した地域密着型の創業・新規事業を支援として次の要件を満たす事業(初期投資費用:設備投資、改修費、機械装置費、備品費等)が対象になります。

- ①地域密着型(地域資源の活用) ②地域課題への対応(公共的な課題の解決)
- ③地域金融機関等による融資(原則、公費による交付額と同額以上) ④新規性(新規事業) ⑤モデル性

事業スキーム



【補助上限額】	
融資/公費	上限額
2.0～の場合	5,000万円
1.5～2.0の場合	3,500万円
1～1.5の場合	2,500万円

※融資額と同額の範囲内

- 【補助率】
- ・原則、自治体負担の1/2
 - ・条件不利地域 財政力0.25以上 2/3 財政力0.25未満 3/4
 - ・デジタル技術活用 3/4
 - ・脱炭素 3/4
 - ・女性・若者活躍 3/4



- 自治体の事業を支援
- 施設整備・改修費、備品費も対象
- 補助上限額は最大5,000万円(大規模事業対応可)
- 全ての産業分野で活用可能

- 補助率は条件不利地域の場合 2/3～3/4
- 特別交付税措置(措置率0.5)により実質的な地方負担を大幅に軽減
- 毎月、交付申請可能

出典:総務省「ローカル10,000プロジェクト等について」

◎令和6年度採択事業

- 事業名:東大阪市の工業・商業・文化を繋ぐ拠点『マチCOBAの駅』の開設 ○事業費:4,000万円
- 事業概要:「マチCOBAの駅」を開設し、「技術の展示」「製品の販売」「職人等の地域人財による交流」などを行い、「東大阪市の工業文化の魅力発信」「工場の売上向上」「職人の技術継承」などの地域活性化を図っていく。